



国際ロータリー 第2570地区

行田ロータリークラブ

知新 温故
こどもたちに 明るい未来を



2016-17 年度 RI 会長:ジョン・ジャーム / ガバナー:前嶋修身 / 会長:大野年司 / 幹事:渡辺久記
クラブ会報委員会 委員長:松岡 保 / 例会日:木曜日 午後 12:30 開会 / 会場:ベルヴィアイトピア

第2484回 3月第2例会 3月9日(木)

〔 県立行田特別支援学校 大人の社会科見学例会 〕

- 点鐘 大野年司 会長
- 会長の時間 大野年司 会長
- 幹事報告 渡辺久記幹事
- 主旨説明

- 出席奨励・スマイル委員会
- 点鐘 大野年司 会長
- 社会科見学

点 鐘 会 長 の 時 間



皆様こんにちは。今日は、移動例会「大人の社会科見学」ということで、こちらで食事をして頂いて、県立行田特別支援学校様に参ります。プログラム委員長鈴木さんはじめ、委員の方、湯本レストランさんには大変お世話になります。よろしくお願いいたします。

今年は、「温故知新 子供たちに明るい未来を」というテーマで、進んでまいりました。50周年の記念事業でも、行田ロータリー文庫への大幅な蔵書や、ロータリー希望の風奨学金への寄付も50周年ということで当初50万円の予算を組んでおりましたが、何人かの方より指定の寄付を頂きましたので、合せて60万円の寄付を予定しております。

また、世界中のロータリアン30年の努力の結果、最近ビルゲイツさんの協力もあり、ポリオは99,99パーセント撲滅しました。昨年のデータですが、アフガンで2件、パキスタンで1件の発症だけだったそうです。これは皆様からお一人、約3600円自動的に、会費の中から寄付されていかされてまいりました。野口さんご存知でしたか？皆様のお蔭様なのです。すごい成果だと思います。

さて、行田に40年も前からありますこの支援学校について、意外と接点のある方は少ないと思います。私も不勉強で、実際のことがよくわかりません。そのようなわけで今回は鈴木委員長にお骨折りを頂き、移動例会ということで実現しました。鈴木さん有り難うございます。しっかりと勉強して今後何かのお役に立てたらと思います。

最後に、同じく目の不住な子供のために、アイバンクの登録を重ねてお願いいたします。今年度行田クラブで50名を突破しました。昨年からと併せますと200名もあと一歩です。先日、私がお願いした人は、「どうせ燃やしてしまうんだから結構ですよ」とその場で快く書いてくださいました。是非、お知り合いなどにお声かけをお願いします。申込用紙は事務局にいつでもありますし、例会時には準備しておりますので、利他の心で、是非皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

幹 事 報 告



皆さん、こんにちは。

本日は、県立行田特別支援学校を訪問させていただきます。これまで準備打ち合わせを重ねてこられた鈴木プログラム委員長はじめとする委員会の皆様、ありがとうございました。また、昼食会場として場所を提供いただいた湯本会員にもお礼申し上げます。

では幹事報告をいたします。

1. 今週月曜日に行田の「那のつ」さんにて、第五グループの会長幹事会が開催されました。各クラブの会長さんから報告がありましたが、既に大きな事業は終わり、後は親睦旅行だけ、というクラブもあれば、5月に20周年式典を行う熊谷南クラブなど、様々な状況です。また、第五グループの研修委員である沢田将信さんがお見えになり、4/2のフレッシュロータリアン研修の案内がありました。こちらにつきましては、既に申し込みを頂いている方もいらっしゃると思いますが、今一度お声掛けをさせて頂きたいと思いますので、宜しくお願い致します。
2. 先週の理事会で承認を頂き、皆様にご案内した4月の例会スケジュールですが、50周年実行委員会からの要請があり、スケジュールの一部を入れ替えさせていただきます。具体的には、4月6日が新人卓話、4月13日が50周年実行委員会による例会となっておりますが、これを入れ替えて、4/6が50周年実行委員会、4/13が新人卓話とさせていただきます。例会の時間・場所については変更ありません。担当者の方には、ご面倒をお掛けしますが、ご協力宜しくお願い致します。
3. 今度の日曜日12日に、親睦旅行の下見に会長幹事と小松親睦委員長で行ってまいります。
4. 来週の例会は、アイトピアにて昼の例会となります。内容は新入会員の卓話です。来週お話し頂くのは、田島会員・藤間会員・宮内会員です。是非ご期待ください。

主 旨 説 明



プログラム 鈴木貴大委員長

埼玉県で40か所の支援学校があり生徒数は7000人ですが毎年約250人増加しております。今日は支援学校の現状を知り少しでもお役に立てるにはどうしたらよいか？勉強しましょう。



司会 斎藤委員長

出 席 状 況 報 告

T	正会員数	68名
A	85年規定承認者	16名
A	理事会欠席承認者	
P	本日の出席者	17名
B	各承認者の例会出席者	6名
MU	本日のメーキャップ者	10名
本日の出席率		47%

ニ コ ニ コ 報 告

○大野会員

4月15日、16日にはたくさんの皆様の登録を頂きありがとうございます。

かぜ等ひかないよう、お願い致します。

○渡辺幹事

普段は、あまり入ることのない学校に訪問させて頂き、プログラム委員会の皆様、有難うございます。

○湯本会員

本日は、ゆもとホテルをご利用頂き、ありがとうございます。

※本日のニコニコは7000 円でした。

ありがとうございました。

大人の社会科見学

県立行田特別支援学校

知的障害教育と障害者雇用を学ぶ



利根川校長先生

行田特別支援学校は行田、羽生、熊谷、鴻巣の知的障害のある児童生徒が通う学校であり、昭和53年に開校、今年創立40年です。児童数は191名（小学部71名、中学部39名、高等部81名）

学校教育の目標として小・中・高の一貫した教育を通じ児童生徒の障害に基づく種々の困難の改善と克服に努め、社会の中で充実して生きる人間の形成を目指す。

目指す学校像として自立や社会参加に向けて、児童生徒の持てる力を最大限高める適切な支援を行い、特別支援教育のセンター校として地域に信頼される学校へ

平成28年度の主な取り組み

1 高等部の教育課程の複数化

「職業生活型」・・・就労に必要な知識、意欲、態度を育成する。

「生活充実型」「生活基礎型」

進路サポーターの設置(H29、2、1より)

2 教職員の専門性の向上(研修の奨励と実践)

自閉症支援に重点を置いた授業改善(教室環境整備、視覚支援)

3 災害時の緊急体制の整備・確立



川田PTA会長

子ども達が望む企業へ就労出来るよう支援しております。



進路指導 久保先生

高等部では産業現場等における実習を年間5期に分けて校区内及び近隣市町村の企業および福祉事業所で実施し、一般企業へ20%の就労を目指しております。



進路サポーター 青木様

障害者雇用を是非、皆様の企業でもご検討下さい。

生徒の作品

これらは10月のスマイルまつりで販売され木工品などは特に人気で午前中に完売するそうです。



学校や児童生徒の様子を見させて頂き、率直な感想として、まず児童生徒がのびのびとし明るいこと、それは先生たちが愛情を持って接していることがよくわかりました。そして自立させ社会に送り出せる様に熱心に指導していると痛感いたしました。

行田ロータリークラブとして少しでも力になれる様、取り組んでいきたいと思います。